

具体的にはどんなことをすればよいのでしょうか？

皆さんが住んでいる地域では、すでに「犯罪」「交通事故」「高齢者の孤独死」「いじめ・虐待」などの課題を解決するため、関係機関、ボランティア団体等の協働による様々な活動が行われています。こうした活動に参加できない方でも、**あいさつ・みまもり・たすけあい**など日常生活の中で、できることを実践していただくことで「地域の絆」が深まります。

—いつでも・どこでも・だれにでも— **あいさつ・みまもり・たすけあい** 運動



あいさつ

あいさつは、「生活の基礎」であり、職場や学校、ご近所のなかで「人間関係をつくる第一歩」です。人と人が心を通わせ合う「きっかけ」となるあいさつを一人ひとりが見直してみましょ。

はじめは言葉に出せなくても、軽い「会釈」をするなど、まずは「あいさつをしてみよう」と考えてみましょう。

みまもり

「ひとりで遊んでいる子どもがいる」など、日常のいろいろな場面で注意しながら「見て」「まもる」ことは、やがて地域の目となります。気が付いたときに、少しでも足を止めて、その成り行きを見守ってみましょ。

心配そうな場面を見て気付いたときは、できる範囲で見まもってみましょ。



たすけあい

日常生活のなかで、人への思いやりによって、地域の結びつきはより強くなります。一人ひとりが、お互いに自分のできるときに、できる範囲でたすけあいましょ。

ちょっとした思いやりを行動に変えることから始めてみましょう。

～普及啓発資材～



ピンバッジ



ステッカー



～みんなで守ろう 子どもたち～ **子どもの安全を見守る運動**

「子どもの安全を見守る運動」とは

子どもの安全に対する大人の注意喚起を促すとともに、子どもが「誘拐や暴力、痴漢」など何らかの被害にあっている場面を目撃したり、助けを求められた場合に、その子どもを保護し、すみやかに警察等へ通報するなどして、子どもの安全確保を図っていく運動です。



ポスター



車両用ステッカー

発行支援：財団法人 北海道防犯団体連合会
TEL (011) 232-1565